

“滋賀県”における AI等先進技術の活用事例

担当部課名

滋賀県 総合企画部 情報政策課
TEL 077-528-3292

事業概要

紙の申請書の内容を、1件ずつシステムに手入力する福祉系の業務(約3万件)を...

- 紙の様式に記載された申請内容をAI-OCRがデータ化
- データ化した内容をRPAが業務システムへ自動入力

	実証実験	本格導入
時期	平成30年8月～9月	令和元年9月～予定
費用	0円	AI-OCR: 2,800千円 RPA : 4,900千円
対象業務	特定医療費支給認定業務	左記+福祉系4業務

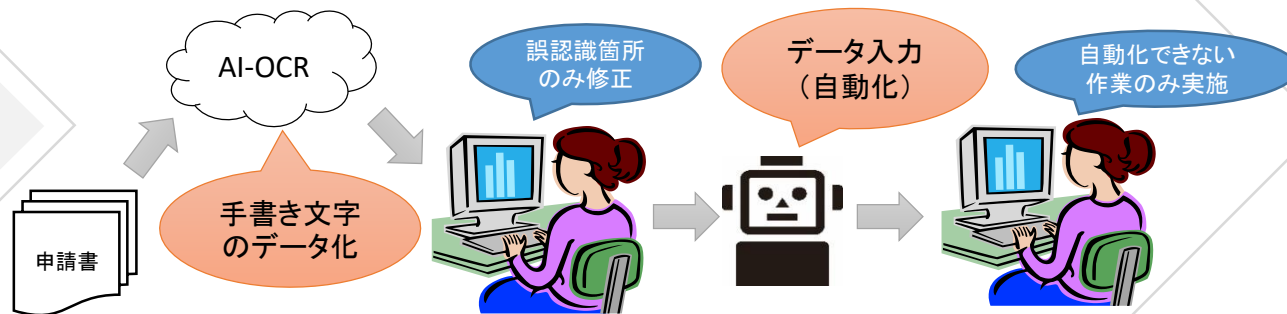
導入前

業務時間: 3,000時間



導入後

業務時間: 1,000時間



導入効果

業務時間を2,000時間削減

ポイント

① AI-OCRの認識率は80%以上

...職員は誤認識箇所のみ修正

ポイント

② RPAでデータ入力作業を自動化

...職員はRPAの性質上自動化できない作業を実施

今後の展開と課題

ICT活用範囲の拡大

・新たな業務への波及

...本事例を職員に周知し、業務改革のイメージを認識してもらう

・窓口業務の電子化

...AI-OCRはあくまで現状の改善であり、今後はそもそもの窓口での手続自体の電子化を進めることで、より大きな効果が期待できる